

第一工業部会主催講演会活動報告**「建国 60 周年を迎えたシンガポール：その政治経済史と将来の展望」**

開催日時：2025 年 9 月 8 日（月）14：00－15：15

開催方法：オンライン（Zoom）

参加人数：223 名

アンケート回答者名：107 名（視聴者の 48%）

アンケート回答者の内、大変満足 65.4%+満足 27.1%=92.5%

第一工業部会ではこの度、日本貿易振興機構 アジア経済研究所（IDE-JETRO）開発研究センターより久末 亮一氏をお招きし、「建国 60 周年を迎えたシンガポール：その政治経済史と将来の展望」という題で、主催講演会を実施いたしました。当日は、第一工業部会のみならず全部会から、合計 223 名の会員の方々にご視聴いただき、前回の主催講演会に引き続き、大勢の方々に参加頂けた講演会となりました。

講演では、1819 年から現在までの政治及び経済の歴史について、リークワンユー政権と現首相であるローレンスウォン政権についての政策の違い、そして将来の展望について、先生の見解などを交えながら、ご講演をいただきました。事後アンケートの印象に残ったこととして、大きく 3 つのキーワードが挙がっていました。1 つ目は、稼ぐ力・挑戦・進化・危機感など『生存への危機意識と挑戦精神』、2 つ目は独立の経緯・国家形成・歴史的背景など『シンガポールの歴史と成り立ち』、そして 3 つ目は、国家主導・政府系企業・自由主義とのバランスなど『国家資本主義・政府の統治構造』でした。

参加者からのコメントとして、「シンガポールが短期間で発展した理由や体制が理解できた」、「シンガポールの成り立ちから現在、未来を背景含めて体系的に説明いただき大変参考になりました」「明快なご説明で分かり易く大変勉強になりました」「シンガポールの動きを長期的な視点でとらえる良い機会でした。高付加価値と開発を軸に、どんどん変わる政府の方針の意味も理解できました。」などがございました。

1 時間という限られた時間ではありましたが、建国 60 周年を迎えたシンガポールについて、政治経済史の観点から、凝縮した内容を久末様よりお届けいただきました。ご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

【小林部会長からのご挨拶】**【日本貿易振興機構 アジア経済研究所 久末氏】**